

墨田区のお知らせ2015.3.1

NO.1775
(毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…介護保険制度が改正されます
- 4・5面…すみだエコポイント
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●3月2日：遠山景元が北町奉行に任命された日

天保11年(1840年)のこの日、「遠山の金さん」のモデルとして知られる遠山景元が、北町奉行に任命された。現在の菊川三丁目に下屋敷を構えていたが、この地は、「鬼平犯科帳」で有名な長谷川 平蔵の屋敷があった場所でもある。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

“自助”・“共助”の意識が大切です 日ごろの防災対策

いつ起こるかわからない災害から自分や家族の命を守るためには、各自・各家庭での日ごろの準備を万全にしたうえで、地域での協力体制を整えることが大切です。災害への備えや災害発生時の行動について、今すぐ確認しましょう。

防災対策、万全ですか

今年は、阪神・淡路大震災から20年目に当たります。また、昨年12月、政府の地震調査委員会は、「東京が今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率」を26%

から46%へと修正しており、いつ起きてもおかしくない大地震などの災害への対応を見直す必要性が高まっています。

災害時の被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る“自助”、自分たちの地域は自分たちで



わが家の“備え”について、定期的に確認を

守る“共助”の力が欠かせません。この“自助”・“共助”の取組を支えるため、区では“公助”として様々な施策を展開しています。

この機会に、あなたの防災対策を今一度点検してみてください。

【問合せ】 防災課防災係 公5608-6206

災害対策として欠かせない“自助”・“共助”・“公助”

自助 自分の命は自分で守る

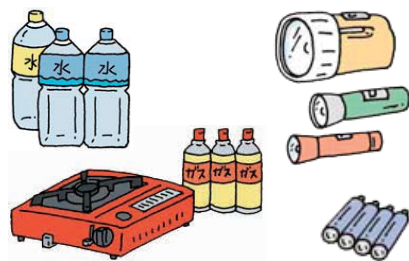
家具・テレビ等の転倒やガラスの飛散、物の落下を防止する対策を行いましょう。また、ベランダなど高い所に物を置かない、アンテナやブロック塀等の状態を確認するなど、家の外にも気を配りましょう。



アルファ化米等の食糧品や飲料水は最低3日分必要です。また、燃料等のほか、懐中電灯や電池、常備薬、おむつ、離乳食なども忘れずに用意しておきましょう。



避難する際に持ち出すものをまとめた、「非常持ち出し品リスト」を作成しておく安心です。「食糧品」「医薬品」「衣類等」「貴重品」「小物類」などの分野ごとにリストアップしましょう。



避難する際は、正確な情報に基づき落ち着いて行動することが何よりも大切です。そのためにも、お住まいの地域の一時集合場所、避難場所、避難所を、防災マップ等で確認しておきましょう。

共助 地域の安全は自分たちで守る

大災害発生時は、公的機関の活動が間に合わないなど、当たり前なことが当たり前ではなくなります。このような場合に頼りになるのが“地域の力”です。防災訓練に参加するなど、普段から地域での連携を密にしましょう。



■消防団員募集

万一の災害に備えて、人とまちを守る最も身近な存在が消防団員です。勤務地で活動する事業所消防団員も活躍しています。あなたの力を地域防災に役立ててみませんか。

【問合せ】 ▶ 本所消防署 公3622-0119 ▶ 向島消防署 公3619-0119

公助 自助・共助を支える

区では、災害時に備え、防災訓練の実施や備蓄の充実、女性に配慮した避難所等の検討、情報連絡体制の整備などに取り組んでいます。昨年9月からは、スマートフォン用の防災情報アプリ「墨田区防災マップ」を配信しています。インターネット通信環境がない状態でも、アプリ内に保持した墨田区防災マップを参照

できるほか、GPS機能を利用して、現在地から最寄りの避難所施設等も確認できます。アプリは、Google Play または App Store を利用して無料でダウンロードできます。**【問合せ】** 防災課防災係 公5608-6206



女性に配慮した防災対策の充実のために

今年度、区では、女性の視点で防災対策を見直すため、「女性の防災対策懇談会」を設けて検討を重ねてきました。この検討結果をふまえ、今後は、女性の防災行動力を育成・啓発するための講座の開催や、要配慮者(高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等)向け備蓄物資の整備、男女共同参画の視点を充実させるための「墨田区避難所運営マニュアル」の改定等に取り組みます。



女性の防災対策懇談会区民委員・鐘ヶ淵町会長 北村 嘉津美さん

女性の防災対策懇談会での検討を通じて強く感じたことは、防災活動のリーダーとして、もっと女性が活躍する必要があるということです。現状では、リーダーの立場にいるのは多くが男性で、女性は男性リーダーのもとで、炊き出しなどの役割を担っている場合がほとんどですが、防災対策に女性ならではの感覚を十分に活かされれば、地域の防災活動を今以上に有効に機能させることができると思います。そのためにも、日ごろから地域の防災活動の中で女性が率先してリーダーとしての役割を担い、いざという時の素地を作っておくことが不可欠ではないでしょうか。